

D 7/1

はじめに神

◆^{せい}聖^{しょ}書^{そうせいき} 創世記 1・1～25
◆^{あんしょうせいく}暗唱聖句 創世記 1・1

名前 []

今日の暗唱聖句を書きましょう。

--

つく 造り主と造られたもの

1. 天と地はどなたが造られたのでしょうか（1節）。
2. 造られる前の「地」は、どんな^{じょうたい}状態だったのでしょうか（2節）。
3. 全てのものは何によって^{そうぞう}創造されましたか（3,6,9,11,14,20,24節）。
4. 造られたものをご^{らん}覧になって、神様はどう思われましたか（4,10,12,18,21,25節）。
5. 造られたものを順に書きましょう。

1日目	4日目
2日目	5日目
3日目	6日目
6. 全てのものの造り主であられる神様は、人間を住まわせるためにこの地球を^{そな}備えてくださいました。あなたはこの地球を、どのようにしていったら良いと思いますか。

☆神様は人間の目には見えませんが、み言葉によって全てのものをお造りになり、それらを今も保っておられます。造り主に^{かんしゃ}感謝をささげましょう。

D 7/8

人の創造

◆^{せい}聖書^{しよ} 創世記^{そうせいき} 1・26～2・7 名前 []
◆暗唱聖句 創世記 2・7

今日の暗唱聖句を書きましょう。

--

神様の代理人

1. 人間は（あなたは）どなたに似せて造られていると書いてありますか（26節）。
2. 人間は（あなたは）何をするために造られたと書いてありますか（26節）。
3. 人間は（あなたは）土に含まれる成分で造られていますが、神様は土から造った人間に、何をされましたか（2章7節）。
4. 「神のかたち」とは何のことでしょうか。
5. 墮落した人間は、どのようにして元の「神のかたち」を回復することができるのでしょうか（今の時代において）。
6. イエス様を信じて「神のかたち」が回復されたなら、私たちは神様が造られたものに対して、どのようにするべきでしょう（28節）。

☆人間は神様によって生かされてこそ、人間本来の生き方をすることができます。あなたも人間本来の生き方ができるように、神様に祈りましょう。

D 7/15

人の罪

◆ ^{せい}聖 ^{しょ}書 ^{そうせいき}創世記 3・1～9

名前 []

◆ ^{あんしょうせいぐ}暗唱聖句 創世記 3・9

今日の暗唱聖句を書きましょう。

--

あなたはどこにいるのか

1. 神様によって造^{つく}られた人間に誘惑^{ゆうわく}が来ました。どのような誘惑であったのか考えましょう。

(1) 神様と人間のはじめの約束は何でしたか(2章15～17節)。

(2) ヘビの質^{しつもん}問に対して女は何と答えましたか(3章2～3節)。

(3) 神様の約束と女の答えとは、どこがどのように違^{ちが}いますか。

(4) あなたならどのように答えますか。

2. 「それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善^{ぜん}悪を知る者となることを、神は知っておられるのです」とヘビが言いましたが、善悪を決める真のお方はどなたですか。

3. 善悪を知る木から取って食べた二人は、どのようになりましたか(7節)。

4. 罪を犯^{おか}した二人に対して、神様はどのように呼^よびかけられましたか(9節)。
今、この神様の呼びかけにあなたはどう答えますか。

☆神様は罪を犯した人間を愛して捜^{さが}しておられます。神様の前に素直^{すなお}に進み出て、神様と共に歩むことができるように祈^{いの}りましょう。

D 7/22

神の約束

◆^{せい}聖 ^{しょ}書 ^{そうせいき}創世記 3・10～21

名前 [

]

◆^{あんしょうせいこ}暗唱聖句 創世記 3・15

今日の暗唱聖句を書きましょう。

--

^{つみ}罪の^{けいばつ}刑罰と^{めぐ}恵みの約束

1. 神様との約束を破った^{やぶ}アダムたちは、神様に「ごめんなさい」と言うかわりに何と
言いましたか（12節、13節）。

(1) アダム 「

」

(2) アダムの^{つま}妻 「

」

(3) あなたなら何と言いますか。「

」

2. へびを利用したサタン(^{あくま}悪魔)に対して、神様は^{ほろ}滅びの^{せんこく}宣告をしました。女のすえと
はだれのことでしょうか（15節）。

3. アダムが名付けたアダムの妻の名と、その意味は何でしょう（20節）。

4. なぜ、アダムは自分の妻にそのような名前をつけたのでしょうか（ヒント：15節
と関係があります）。

5. 罪を^{おか}犯した二人への刑罰を書きましょう（16節～19節）。

エバへの刑罰

アダムへの刑罰

6. 二人への神様の恵みも書きましょう（21節）。

☆女のすえであるイエス様は、神様の約束どおり救い主として来られ、サタンのかしら
を^{くだ}砕かれました。今、イエス様の救いを受け入れましょう。

D 7/29

エ ノ ク

◆^{せい}聖 ^{しょ}書 ^{そうせいき}創世記 5・21～24

名前[

]

◆^{あんしょうせいぐ}暗唱聖句 創世記 5・24

今日の暗唱聖句を書きましょう。

--

いつも神様と^{いっしょ}一緒に

1. 人間の歴史の中に^{ちやうじゆ}長寿の時代がありました。彼らは^{なんさい}何歳まで生きたのでしょうか。

アダム（5節）（ 歳） セツ（8節）（ 歳）

メトセウ（27節）（ 歳） エノク（23節）（ 歳）

2. エノクはメトセウを生んで、神様と共に何年歩みましたか（22節）。

3. エノクの^{よげん}預言を書きましょう（ユダ14～15節）。

4. エノクの預言には何が言われているのでしょうか。

5. 信仰によってエノクはどうなりましたか（ヘブル11：5）。

6. 神様から^{かく}隠れて生きるのか、神様と共に歩むのか、あなたはどちらを選びますか。
神様と共に歩むにはどのようにすればよいと思いますか。

☆あなたは一日にどのくらい^{いの}お祈りをしていますか。家の中でも学校でも、いつでもどこでもお祈りはできます。どんな時でも祈る決心をしましょう。

D 8/5

全き人ノア

◆^{せい}聖 ^{しょ}書 ^{そうせいき}創世記 6・1～22

名前 [

]

◆^{あんしょうせいいく}暗唱聖句 創世記 6・9

今日の暗唱聖句を書きましょう。

--

ノアの^{しんこう}信仰

1. ノアの時代の人々は、どのような^{じょうたい}状態でしたか（5節）。
2. これらの人々を、神様はどのようにすると言われましたか（7節）。
3. ノアはどのような人でしたか（9節）。
4. 全き人とはどのような人のことですか。
5. 神様はノアに何を告げられたのですか（13～14節）。
6. ^{はこぶね}箱舟の^{こうぞう}構造と、^{つく}造られた^{かんたん}目的を簡単に書きましょう（15～21節）。
7. 神様の言葉に対して、ノアはどのようにしましたか（22節）。
8. 今、あなたに神様の言葉が語られたなら、あなたはどうしますか。

☆神様の言葉を聞いたなら、自分に^{そん}損になるか得になるか考えず、神様の言葉に^{むじょうけん}無条件に
全く^{したが}従うことができるように^{いの}祈りましょう。

D 8/12

だいこうずい
大洪水

◆聖書 創世記 7・1～24 名前 []
◆暗唱聖句 創世記 7・5

今日の暗唱聖句を書きましょう。

--

神様のさばきと救い

1. 神様は40日40夜、地に雨を降らせる前に、ノアに何をしなさいと言われましたか（1～4節）。
 2. ノアたち家族は、丘の上で箱舟を何十年もかかって造り続けました。大洪水が来てあらゆる地上の生き物が滅ぼされることを、この箱舟は警告していました。しかし、人々はこの警告に耳を傾けたのでしょうか。もし、あなたがそこにいたら、あなたは どうすると思いますか。
 3. ついに洪水が始まりました。箱舟に入って助かった人々の名前を書きましょう（13節）。
 4. IIペテロ3章10節には、これから神様のさばきがあると警告されています。それはどのようなさばきでしょうか。あなたは どうすればこのさばきから救われますか。
- ☆正義の神様は悪を必ずさばかれます。もし、あなたが罪をもっているなら、悔い改めて救い主イエス様を信じましょう。信じるならば必ずあなたは救われます。

D 8 / 1 9

はこぶね 箱舟

■聖書 創世記 8・1～22

■暗唱聖句 創世記 8・1

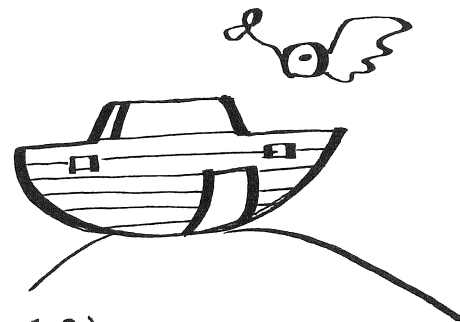
な
ま
え

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

はこぶね
箱舟にのろう！

1. 神様は何に心をとめられましたか（8・1）。

- ①
- ②
- ③



2. 神様は、どうして彼らに心をとめられたのでしょうか（6・18）。

- ☐ ノアと箱舟にいたものたちは、みんな魅力があったから。
- ☐ 神様はノアと契約を結ばれていたから。
- ☐ ノアは、神様に心をとめてもらうために、汗を流して働いたから。

3. 箱舟に入ったノアたちが救われたように、今の時代、神様は私たちがどのような方法で救ってくださるのでしょうか。ヨハネによる福音書 3章 16節を読んでみましょう。

- ①「ひとり子」「御子」とはだれのことでしょうか。
- ②滅びないで永遠の命を得るためには、どうしたらいいのでしょうか。
- ③これはだれの約束、また契約でしょうか。
- ④神様は約束を破られる方でしょうか。

〔まとめ〕下の◎の言葉を選んで、空欄をうめましょう。

	ノアの時代	げんだい 現代
すく 救いの方法は		
はこぶね 箱舟にはいった人は		
けいやく 神様の契約は	はこぶね 箱舟を作ってそれにのりなさい	ひとり子なるイエス様を信じなさい

- ◎箱舟にのること ◎イエス様を信じること ◎ノアとその家族
- ◎イエス様を信じるクリスチャンたち

☆イエス様は、私たちが罪のゆえに滅びないように、身代わりとなって十字架で死んでくださいました。神様は、あなたがイエス様を信じるなら、滅びることなく、永遠の命を与えてくださいます。あなたもイエス様を信じ、神様が用意してくださった箱舟（救い）にはいりませんか。

D 8 /26

けいやく 契約のにじ

■聖書 創世記 9・1～17

■暗唱聖句 創世記 9・13

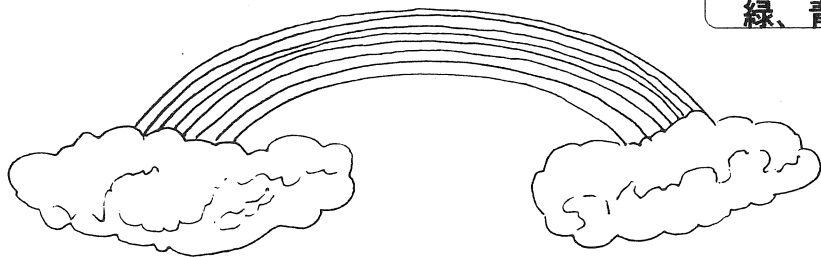
な
ま
え

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

「にじ」って神様の^{けいやく}契約のしるしだったの？

1. 「にじ」を見たことがありますか。きれいですね。にじを見たら、だれかに^{つた}伝えたいくなりますね。下のにじに色をぬりましょう。

7色あります。外側から赤、だいだい、黄、^{むらさき}緑、青、あい、紫の順です。



2. 神様はにじを見て、^{けいやく}ノアたちとの契約を思いおこし、「もう～はしない」と^{やくそく}約束しておられます。どんな約束ですか（9・11）。

3. 先週学んだように、神様は、イエス様を信じる人は滅びないという救いを用意されました。そこにも神様は^{けいやく}契約のしるしを与えておられます。それは何でしょうか。下の聖書の^{かしよ}個所を読んで、答えましょう。

マタイ 26・26～29
ルカ 22・19～20
1コリント 11・25
ヘブル 9・20

イエス・キリストによる神様の^{けいやく}契約のしるしとは？

↓
けいやく
契約の 

※その^{けいやく}契約を思い出すために、^{せいさんしき}聖餐式でパンを食べ、ぶどう酒を飲みます。

☆神様は、^ち血を流してはならないと、^{なが}きびしく命じられました。なぜなら^ち血は命であり、^{もっと}最も大切なものだからです。イエス様は、その最も大切な命である^ち血を流して、私たちとの^{けいやく}契約を結び、^{むす}しるしとしてくださいました。あなたも^{かんしゃ}感謝して、それを受け取りませんか。

D 9 / 2 新しい命

■聖書 II コリント 5・11～19

なまえ

■暗唱聖句 II コリント 5・17

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

新創造のプロセス

1. 神様は何のために人間をつくったのでしょうか。

《考えてみよう》

- ①あなたが大切に飼っている犬が、ちっともあなたになつきません。でもある日、あなたの友だちが来たら、ずいぶん喜んで、しっぽをふり、じゃれています。犬の飼い主であるあなたはどんな気持ちになりますか。
- ②あなたが作った大切な置物を、知らない人が来て、勝手に持って行ってしまいました。あなたはどんな気持ちになりますか。
- ③神様が、神様を中心に、神様と交わり、互いに愛しあって生きるために、人間をつくられたのに、人間が神様を無視し、自分勝手に生きていたら、神様はどんな気持ちでしょう。

2. 神様は、自分勝手に生きるようになった人間のために何をされたでしょう。

《考えてみよう》

- ①友だちにはなつくけど、自分にはちっともなつかない、あなたの犬に対してあなたは何をしますか。
- ②自分が作った大切な置物を勝手に持って行かれたら、あなたはどうしますか。
- ③神様を無視し、自分勝手に生きている人間のために、神様は何をされましたか。

下の聖書の箇所を読んで、空欄をうめましょう。

I コリント 15・3、II コリント 5・14、ヨハネ 3・16



神様は、反抗する人間を、愛してくださって、ひとり子の○○○様を、罪の世に送り、人間の罪の罰を受けさせるために、○○○につけてくださった。

3. 新創造の方法

II コリント 5・17を読んで、新しく造られるために、わたしたちがしなければならない1つのことを、下の中から選びましょう。

- ☐ 自分には罪はないのだから、よい行いを続けていく。 ☐ 罪を認め、イエス様を信じる。
- ☐ 勉強を続け、新しいことを学ぶ。

☆新しく造られた人は、自分のためでなく、イエス様のために生きる人となります。あなたもそのような人になっていただきますか。

D 9 / 9 まことの命

■聖書 ヨハネ 14・1～7

■暗唱聖句 ヨハネ 14・6

な
ま
え

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

話し合おう 道、真理、命！

(下の質問をとおして、話し合ってみよう)

1. イエス様は「道」

① イエス様はどこへ行く道でしょうか。



② 罪ある人は立派な行いをして、体を打ちたたいて修行をしても、大切なものをさ
さげても、「父の家」に行くことはできませんが、なぜイエス様を道として歩めば
「父の家」に行けるのでしょうか（ヒント：十字架）。

2. イエス様は「真理」



① 真理とは変わらない絶対的なものですが、永遠に変わらないものがあるでしょうか。
話し合ってみよう。

② 永遠に変わらない絶対的なもの、信頼に価するもの、頼っても大丈夫なものが聖書
の中に書かれています。ヘブル 13・8、1 ペテロ 1・23 には変わらないものは
何だと書いてありますか。

3. イエス様は「命」

① 1 ヨハネ 5・11, 12 を読んでみよう。御子とはだれのことですか。

② 命を持つ人はだれですか。命を持っていない人はだれですか。



☆ご自分の命を捨てて、「道」となってくださり、永遠に変わらない「真理」であり、「命」
そのものであられるイエス様を信頼して歩みませんか。

■聖書 ヨハネ 3・1～15

■暗唱聖句 ヨハネ 3・15

なまえ

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

ニコデモの信念とイエス様の教え

1. 夜、イエス様のもとに訪ねてきたニコデモさんの紹介にふさわしいものを○で囲みましょう。

◆サドカイ人 ◆イスラエルの教師 ◆新しく生まれ変わった人 ◆ヨハネの弟子

◆ペリシテ人 ◆イエス様の弟子 ◆パリサイ人 ◆ユダヤ人の指導者

◆律法を守ることによって、天国に入ることを信じていた

◆イエス様を信じることによって、新しく生まれることをはじめから信じていた

2. こんなに立派な教師であるニコデモでも、イエス様のお話がさっぱりわからなかったようです。何がわからなかったのでしょうか。3節、4節を読んで話し合ってみよう。

3. イエス様が言われた「だれでも新しく生まれなければ、神の国を見ることはできない」とはどういうことでしょうか。考えてみよう。

《ニコデモの信念》 ホントかな？考えてみよう

律法を守ることによって神の国に入る⇒よい行いをすれば天国に入れるという考え



①やぎがライオンの歩き方、顔つき、ほえ方などのまねをして、ライオンそっくりになれば、やぎはライオンの群に入れると思いますか。ライオンの群に入ったら、やぎはどうなりますか。

②罪人である人間が、律法を守ることによって、きよい神の子のまねをすれば、神の国に入れますか。

※ライオンの群に入るには、ライオンのまねではなく、ライオンの子として生まれなければなりません。神の国に入るには、神の子のまねではなく、神の子として生まれなければなりません。

《イエス様の教え》



新しく生まれることによって、神の子とされ、神の国に入ることができる(Ⅱコリント5・17)。

①イエス様は、教師であるニコデモにもよくわかるように、旧約聖書からお話をされました(民数記21・4～9)。罪のために、滅びようとしているイスラエルの人々を救う手段として、神様がさおにかけられた青銅のへびのように、十字架にかけられたのはだれですか。

②さおにかけられた青銅のへびを仰いで見た人々が、助かったように、十字架にかけられたイエス様を見て、信じる人はどうなりますか(15節)。

☆あなたはニコデモの信念を支持しますか。それともイエス様の教えを聞き、イエス様を信じ、永遠の命をいただきますか。

D 9 / 2 3

いずみ 命の泉

■聖書 ヨハネ 4・1～26

■暗唱聖句 ヨハネ 4・14

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

な
ま
え

人がここまで変わるとは！

	イエス様	サマリヤの女
どこの国の人？		
男か女か？		
話しかけたのはどっち？		
話しかけた言葉		
生ける水を持ってるのはどっち？		

1. ユダヤ人はサマリヤ人と交際していませんでした。また当時は男性から女性に、話しかけることもありませんでした。それなのに、なぜユダヤ人であり、男性であるイエス様は、この女に近づき話しかけられたのでしょうか。

2. いつまでもかわくことがないばかりか、泉となり、永遠の命に至る水を持っていたのは、イエス様なのに、どうしてサマリヤの女に「水を飲ませてください」とたのまれたのでしょうか。

3. イエス様が女に話されたことは、次のうちどれでしょうか。4つ選びましょう。

- ◆生ける水のこと ◆ゲームの攻略法 ◆まことの礼拝のこと
- ◆おもしろい本のこと ◆永遠の命に至る水のこと ◆健康の秘訣のこと
- ◆彼女の夫のこと ◆おいしい飲み物のこと



4. イエス様と話しをするうちに、女が気づいたことが下の中に3つあります。どれかな。

- ◆井戸に来たのに、くむものを忘れていたこと ◆自分が罪人であること
- ◆イエス様は生ける水を持っておられること ◆今日は暑くて、のどが渇くこと
- ◆お弁当を忘れてきたこと ◆目の前にいるイエス様こそが、救い主であること

☆サマリヤの女は、人目をはばかり罪人でした。けれども、イエス様の方から近づかれ、イエス様との会話が、終わるころ、気づいたら女は水をくむのも忘れて、人々のところへ行き、イエス様のことを伝えはじめました。あなたも人を造りかえられる、イエス様に会いませんか。

D 9 / 3 0 命の光

■聖書 ヨハネ 8・1～12

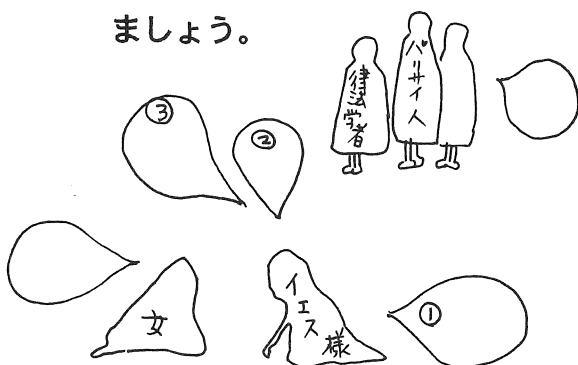
■暗唱聖句 ヨハネ 8・12

な
ま
え

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

「わたしもあなたを罰しない」

1. 律法学者、パリサイ人のセリフ、イエス様のセリフ、女のセリフをそれぞれ書き込みましょう。

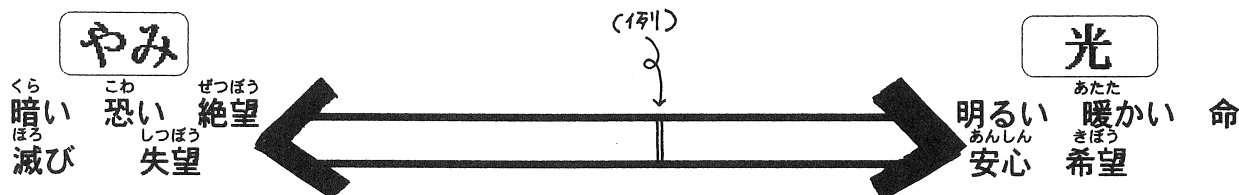


- A: 主よ、だれもございせん。
B: わたしもあなたを罰しない。お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように。
C: 先生、この女は祭壇の場でつかまえられました。モーセは律法の中で、
こういう女を石で打ち殺せと命じましたが、あなたはどのように思いますか。
D: 主よ、みんなはどこにいるか。あなたを罰する者はなかつたのか。
E: あなたがEの中で罪のない者が、まずこの女に石を投げつけるがよい。

(セリフの空らんに入力してね)

※イエス様のセリフ①～③は、イエス様が言われたこと順です。

2. 律法学者、パリサイ人は、イエス様をわなにかけて訴えるつもりでした。女はそのわなの道具でした。
- ①訴えようとしていた律法学者やパリサイ人は、イエス様のみごとな対応に対して、たじたじでした。この時の彼らは、どんな気持ちだったのでしょうか。
- ②わなの道具として、はめられ、罪の現場でつかまえられた時、女はどんな気持ちだったのでしょうか。
- ③イエス様が、自分に対して、とられた態度や、ゆるしの言葉を聞いて、女はどんな気持ちだったのでしょうか。
3. 11節のイエス様の言葉から、イエス様のこの女に対する気持ちは、どのようなものだったのでしょうか。
4. 今日のみ言葉には、やみと光があります。あなたはどっちにいますか。あなたの位置に近いところにしるしをつけましょう。



☆「わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう」と約束されました。あなたも世の光であるイエス様に従って、命の光をもつ人になりませんか。

ワークD解説 4~6月

7/1

- 1. 創造主を教えましょう。
- 2. 地には何もなかったことを教えましょう。
- 3. 神様のみ言葉によって、すべてのものが造られたことを教えましょう。
- 4. 神様の創られた物は、すべて良いものであることを教えましょう。
- 5. 創造されたものを順に記しましょう。
- 6. 神様によって造られたすべてのものを、大切にする事を教えましょう。

◎創造主を認めて信じ、造られたものを大切にしましょう。

7/8

- 1. 人は神様に似せて造られていることを教えましょう。
- 2. 人は神様が造られたものを、管理する働きが求められている事を教えましょう。
- 3. 神様の命の息が人を生かすことを教えましょう。
- 4. 人格性、道徳性、霊性、社会性などと教えましょう。
- 5. イエス様を信じて受け入れることによって、回復すると教えましょう。
- 6. 被造物を治めることを教えましょう。

◎イエス様によって神のかたちが回復されて、人間本来の働きができるようになります。

7/15

- 1. (1) 善悪の知識の木からは、取って食べてはならなかったことは、神様との約束であったことを教えましょう。(2) (3) 神様の約束を、うろ覚えではいけないことを教えましょう。(4) 神様の約束に対する本人の意志をたずね、確認しましょう。
- 2. 善悪を決める真のお方は、人ではなく神様であることを教えましょう。
- 3. 裸の自分の姿を知り、恥ずかしく思ったことを教えましょう。
- 4. 神様は、罪人を悔い改めに導くために、働きかけるお方であることを教えましょう。

◎神様の呼びかけに応じて罪を悔い改め、神様と共に歩む者となりましょう。

7/22

- 1. (1) (2) 責任を転嫁したことを教えましょう。(3) 本人の意志を確かめましょう。
- 2. 女のすえであるイエス様が悪魔を滅ぼすと、神様が約束されたことを教えましょう。
- 3. エバ (いのち) であることを教えましょう。
- 4. 女によって新しい命が生み出され、女の子孫が悪魔を滅ぼすとの約束を、アダムが信じたため命名した。
- 5. 生みの苦しみと夫への服従。労苦と肉体の死。
- 6. 命の犠牲によって衣が備えられたことを教えましょう。

◎イエス様によって成就した神様の約束を信じ、イエス様を受け入れるように導きましょう。

7/29

- 1. 人は決して短命に造られてはいないことを教えましょう。
- 2. 300年。
- 3. 4. 悪に対しては、必ず神様のさばきがあることを教えましょう。
- 5. 死を経験せず、天に引き上げられたことを教えましょう。
- 6. 本人の決心を求め、神様との交わりである祈りを深くし、み言葉に従うよう教えましょう。

◎神様との交わりを絶やさない生活を、神様は喜ばれることを教えましょう。

8/5

- 1. 悪い心の人々であったこと。
- 2. 洪水によって一掃すること
- 3. 正しく、全き人であったこと。
- 4. 神様を愛して心から従う人になること。
- 5. 悪人を滅ぼすゆえ、箱舟を造れと言われた。
- 6. 3階建て。ノア一家と動物たちを救うため。
- 7. 従順に従った。

◎信仰とは、神様のみ言葉に対して、従順に従うことであることを教えましょう。

8/12

- 1. 箱舟に入り、動物たちも生き残れるようにせよと言われた。
- 2. 人々は神様のさばきの警告に耳を傾けなかった。本人の意志を確認しましょう。
- 3. ノア、セム、ハム、ヤベテと彼らの妻たち。あわせて8名だけであったことを教えましょう。
- 4. 今の世界は火によってさばかれる事。イエス様を信じる事。

◎正義の神様は悪を必ずさばかれます。今というこの時にイエス様を信じて救われましょう。

8/19

- 神様はノアたちを箱舟によって、救われたように、今もイエス様を信じることをとおして、私たちを救おうと願っておられることを発見し、信じる者となることがねらいです。
- 私たちは救いの条件を無意識にも、神様の条件以外につけようとする傾向がないでしょうか。神様の方法を、的確に確認したいものです。そして、神様はご自分の契約を忘れず、成就される方であることに、信頼をおきたいと思います。

8/26

- 虹が神様の契約のしるしであったように、新約時代はイエス・キリストの血が契約のしるしです。
- 虹に色を塗りながら、神様の契約を確認しましょう。旧約に勝る契約のしるしを、神様は用意してくださいました。

9/2

- 1、2の「考えてみよう」では、身近な例話を用意しました。分級のメンバーで話し合うきっかけとなりますように。解答はありませんので、自由に受け入れられる雰囲気でお話し合いましょう。
- 質問の中に、神様の感情を考える質問があります。神様はどんな思いをもたれるのか、考える時間となりますように。
- 新しく造られるとは、神様がなさる新創造のみわざで、人間のわざが入る余地はありません。「だれでもキリストにあるならば…」を信じて受け取るだけなのです。

9/9

- 私たちの罪の身代わりとして十字架にかかり、死んで、三日目によみがえられた、救い主イエス様は、また「道であり、真理であり、命である」とおっしゃいました。イエス様は今もなお、私たちと共にいて、父なる神への道となり、絶対的な信頼に値する方として、また命そのものとして、導き続けておられます。
- どんなに不安な時にも、どんなに悲しい時にも、「神を信じ、また私を信じなさい」と言われる、イエス様を信頼することを奨励しましょう。

9/16

- ニコデモはイエス様の言葉を理解することはできませんでした。イエス様の言葉は人間の知恵や知識では判断できるものではなく、御霊によって、理解されるものだからです。
- にもかかわらず、ニコデモは、イエス様に対して、並々ならぬ興味を持ち、夜イエス様を訪ねてきたのは、自分の飢え渇きに気づき、それを満たしうるのは、イエス様しかいないと強く感じて、求めていたからでしょう。「求めよ。そうすれば、与えられるであろう」（マタイ7・7）のように、後にニコデモは、主イエスの遺体を丁重に葬る準備を買って出たのです。新しく生まれる、というテーマは、ニコデモの見たことも聞いたこともないことでしたが、ニコデモの心をとらえてやまなかったのです。
- イエス様はニコデモの知識に応じて、新しく生まれる、というテーマを丁寧に解説されました。私たちが福音を伝えるとき、語る相手のことを理解するためにも、よく聞き、祈って備えるべきことを教えられます。

9/23

- 人を避け、人にも避けられるサマリヤの女に、あえて近づかれ、ご自分のほうが弱い立場になって、語りかけ、つっけんどんの語り口にも断念されず、女の救いを願われる主の熱い思いに接する記事です。
- サマリヤの女は、イエス様に会った時と、イエス様との会話が終わってからとでは、まるで別人のようです。新しく造られた人、新しく生まれた人を、目の当たりにします。
- イエス様は私たちに対しても、救いを得るように、生ける水を与えようと、願って導いてくださるお方であることを伝えましょう。

9/30

- 弁護してくださるイエス様が、いつも私たちと共にいてくださいます。訴える人がどんなに多くても、主は訴えられる人の側にたち、共にひざまずいて、弁護して下さっています。そのイエス様こそ、「世の光」です。弁護者なるイエス様に信頼し、従う人はその罪が赦され、罰せられることなく、神とともにある平安な人生に導かれるのです。